

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(30歳代男性)あり、血清型はO26です。本年初めての報告となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市感染症情報センター「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- 梅毒の報告が1例(30歳代女性)あり、症状は梅毒性バラ疹です。推定感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は4例で、いずれも女性です。
- バンコマイシン耐性腸球菌感染症の報告が1例(60歳代男性)あり、本年初めての報告となっています。

◆ 今週のトピックス: <ジカウイルス感染症>

- 日本国内で報告されているジカウイルス感染症は7例で、いずれも海外の流行地で感染し、帰国後に発症が確認された輸入症例です。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 6例(肺結核 2例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 83例(肺結核 47例, その他結核 16例, 潜在性結核感染者 20例)うち喀痰塗抹陽性29例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 35例】
- 五類:梅毒(早期顕症梅毒)1例【1月以降の累積報告数 4例】
- 五類:バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	3.99	275
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.90	248
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.83	35
	③ 流行性耳下腺炎	0.62	26
	④ 突発性発しん	0.31	13
	⑤ 水痘	0.24	10
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

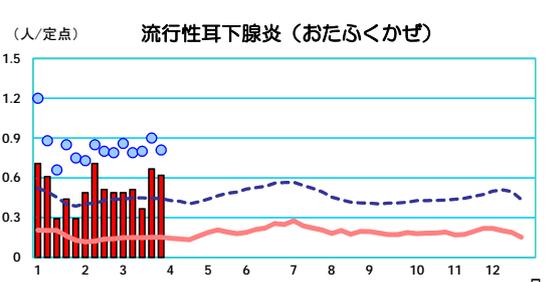
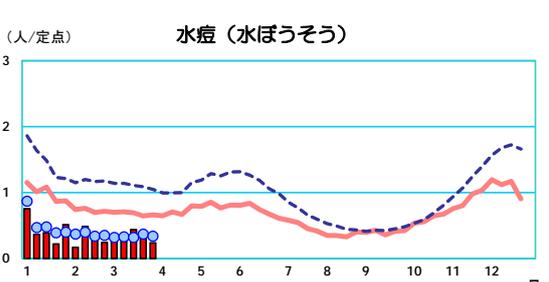
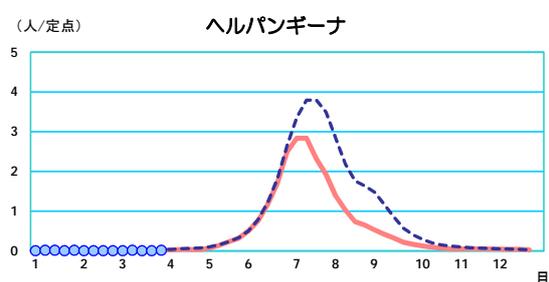
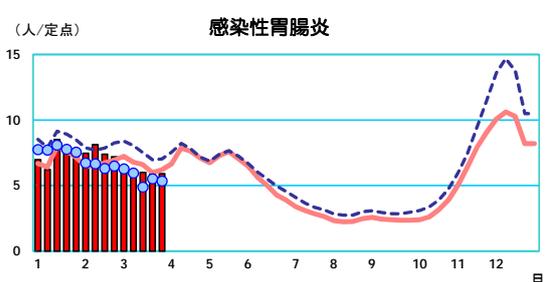
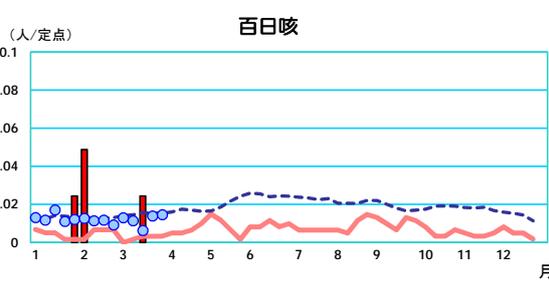
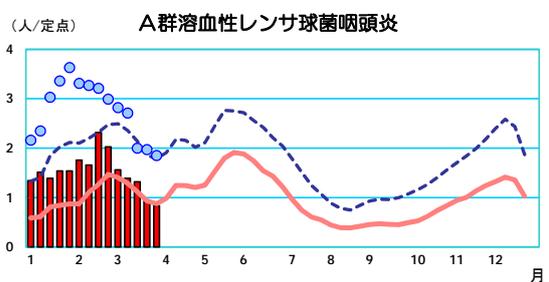
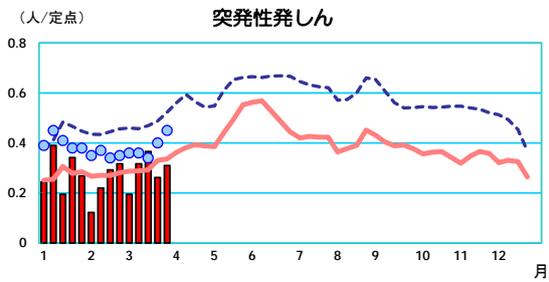
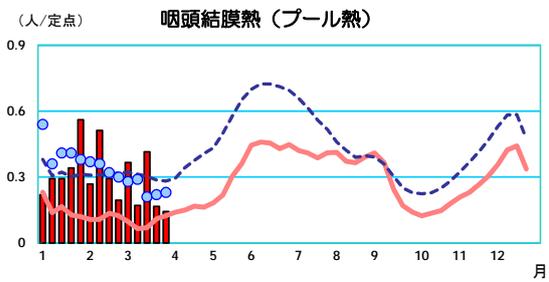
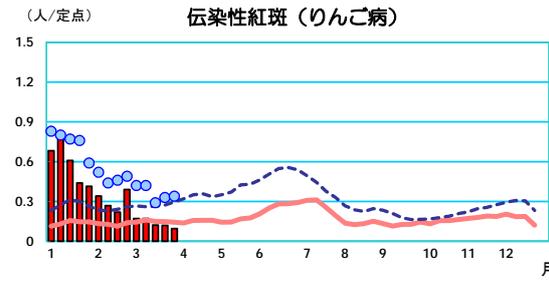
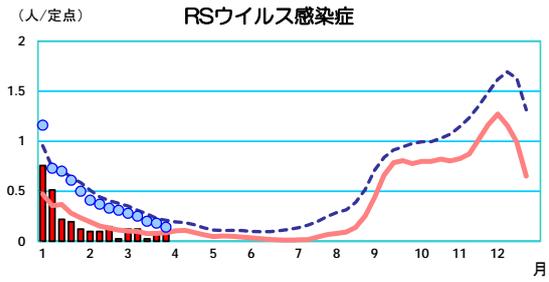
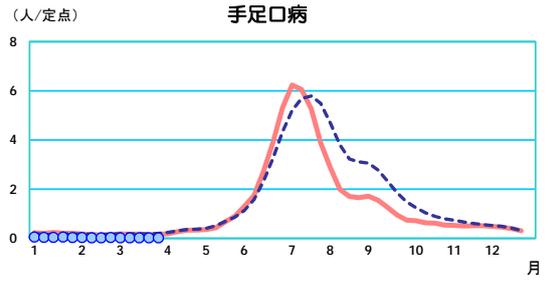
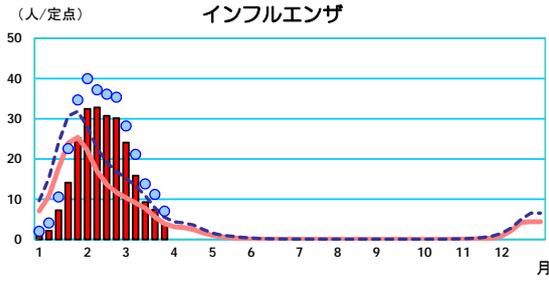
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <ジカウイルス感染症>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成28年4月13日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第14週(4月4日～4月10日)トピックス: <ジカウイルス感染症>

5月の大型連休には海外で過ごす方が多くなります。そこで、海外で発症が多く報告されているジカウイルス感染症について国内外の状況をまとめました。

現在、日本国内で報告されているジカウイルス感染症は7例で、いずれも海外の流行地で感染し、帰国後に発症が確認された輸入症例です(表1)。本疾患は蚊が媒介することで発症する感染症で、主症状は、軽度の発熱、頭痛、関節痛、倦怠感等で、ほとんどの場合、症状は軽く、2～7日で治ります。

ジカウイルスは1947年にウガンダのジカ森林のアカゲザルから初めて分離されました。以来、ジカウイルス感染症は世界各地で散発的に発生しています(表2)。2015年には、ブラジルを中心とした中南米の多くの国々で発生しています(表3)。また、これらの地域では流行の発生に伴って、小頭症の子どもが多く生まれていることから、ジカウイルスとの関連が指摘されています。

2016年8、9月のブラジル・リオデジャネイロオリンピックとパラリンピックの開催に伴い、多くの人が渡航されることが予想されます。これらの国々を訪れる場合は、感染防止のため、蚊に刺されないように注意する必要があります。また、妊婦及び妊娠予定の女性は、渡航を控えることが推奨されています。詳しくは以下のホームページを御覧ください。

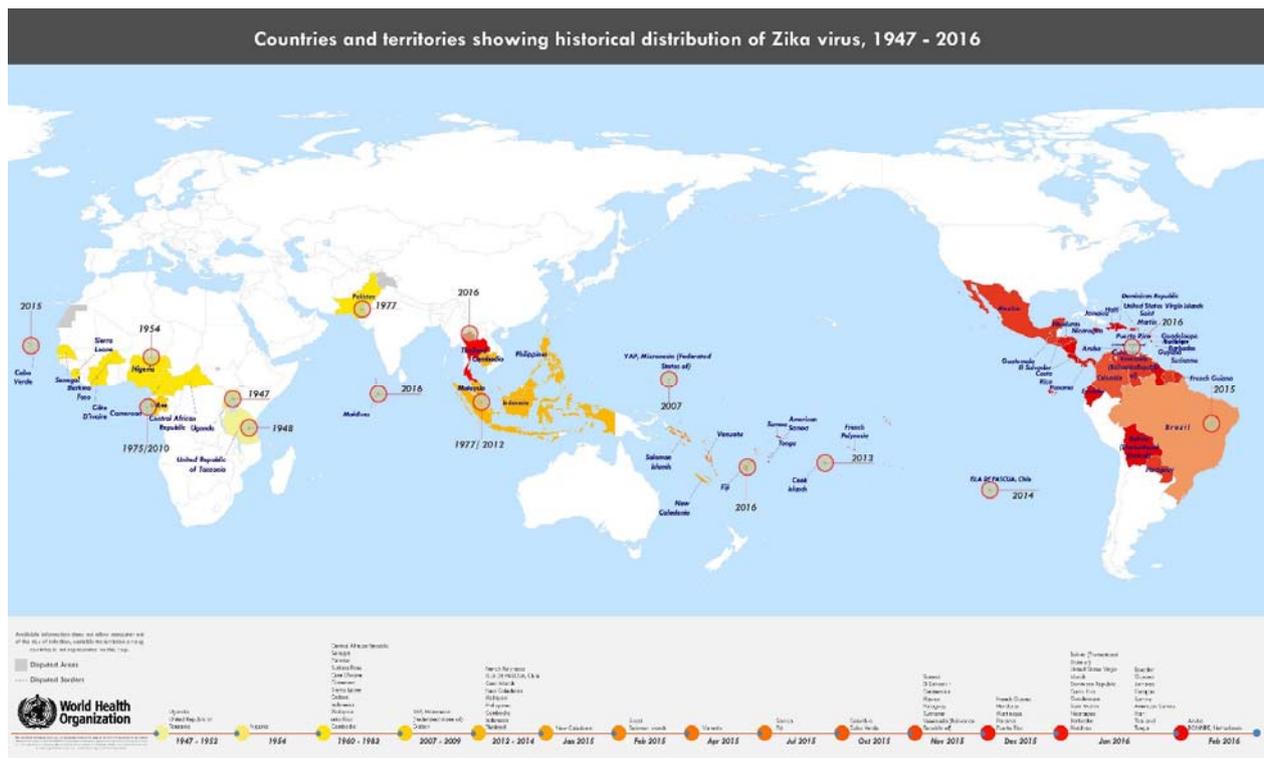
○ジカウイルス感染症に関する情報提供について(国立感染症研究所「ジカウイルス感染症のリスクアセスメント」及び厚生労働省「ジカウイルス感染症に関するQ&A」)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000120424.pdf>

表1 日本国内における発生例(厚生労働省及び国立感染症研究所の資料を基に作成)(平成28年4月13日現在)

年代	20歳代	30歳代	40歳代	10歳代	30歳代	不明	40歳代
性別	男性	女性	男性	男性	女性	女性	女性
滞在国内	ボラボラ島	ボラボラ島	タイ	ブラジル	ブラジル	ブラジル	ブラジル以外の中南米流行地域
滞在期間	平成25年 12月2～7日	平成25年 12月14～23日	平成26年 7月25～31日	平成28年 2月9～20日	平成28年2月約2週間 滞在。2月22日帰国	平成28年2～3月約3 週間滞在。3月上旬に 帰国。	平成28年3月約2週間 滞在。3月20日帰国。
症状	頭痛、38℃台発熱、 関節痛、咽頭痛、皮疹	37℃台後半発熱、 頭痛、後眼窩痛、皮疹	頭痛、皮疹、 38℃以上の発熱	発熱、発疹	全身発疹、38℃台発 熱、 関節痛	関節痛、発疹	発疹、37℃後半発熱、 関節痛、結膜炎等

表2 1947年～2016年におけるジカウイルス感染症発生地域



※WHOホームページ(<http://www.who.int/emergencies/zika-virus/situation-report/7-april-2016/en/>)より引用(平成28年4月13日閲覧)。

表3 ジカウイルス感染症の流行地域(厚生労働省ホームページ(※)より)(平成28年4月5日現在)

○中南米・カリブ海地域

アルバ、バルバドス、ボリビア、ボネール、ブラジル、コロンビア、プエルトリコ、コスタリカ、キューバ、キュラソー島、ドミニカ国、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、仏領ギアナ、グアドループ、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、マルティニーク、メキシコ、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、セント・マーティン島(仏領サン・マルタン及び蘭領シント・マールテン)、セントビンセント及びグレナディーン諸島、スリナム、トリニダード・トバゴ、米領バージン諸島、ベネズエラ

○オセアニア太平洋諸島

米領サモア、フィジー、ミクロネシア連邦コスラエ州、マーシャル諸島、ニューカレドニア、サモア、トンガ

○アフリカ カーボベルデ

○アジア地域 タイ

※厚生労働省ホームページ<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000113142.html>

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第14週

疾病,行政区別報告数

平成28年4月4日～平成28年4月10日

データ入手日:平成28年4月13日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎(※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎(※3)	感 染 性 胃 腸 炎(※4)	
男女合計																				
北	19	-	3	2	6	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
上京	17	-	-	3	4	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
左京	30	-	-	8	34	3	-	-	2	-	-	1	-	-						
中京	7	-	-	2	10	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	10	-	-	-	25	1	-	-	-	-	-	1								
山科	31	1	-	7	16	-	-	-	1	-	-	1	-	-						
下京	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
南	42	-	1	4	19	2	-	-	2	-	-	3								
右京	21	3	-	5	56	1	-	2	3	-	-	-	-	1						
伏見	45	1	1	2	35	3	-	2	3	-	1	18	-	-						
西京	48	-	1	2	43	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
京都市計	275	5	6	35	248	10	-	4	13	-	1	26	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎(※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎(※3)	感 染 性 胃 腸 炎(※4)	
男女合計																				
北	2.71	-	0.75	0.50	1.50	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-						
上京	3.40	-	-	1.00	1.33	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-						
左京	4.29	-	-	2.00	8.50	0.75	-	-	0.50	-	-	0.25	-	-						
中京	1.40	-	-	0.67	3.33	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	3.33	-	-	-	12.50	0.50	-	-	-	-	-	0.50								
山科	4.43	0.25	-	1.75	4.00	-	-	-	0.25	-	-	0.25	-	-						
下京	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
南	8.40	-	0.33	1.33	6.33	0.67	-	-	0.67	-	-	1.00								
右京	2.63	0.60	-	1.00	11.20	0.20	-	0.40	0.60	-	-	-	-	1.00						
伏見	4.09	0.14	0.14	0.29	5.00	0.43	-	0.29	0.43	-	0.14	2.57	-	-						
西京	6.00	-	0.20	0.40	8.60	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-						
京都市計	3.99	0.12	0.14	0.83	5.90	0.24	-	0.10	0.31	-	0.02	0.62	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第14週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年4月4日～平成28年4月10日

データ入手日:平成28年4月13日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	275	1	2	16	17	13	15	16	14	4	4	5	16	18	18	27	28	23	17	8	13
RSウイルス感染症		5	-	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		6	-	-	2	-	1	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		35	-	-	-	5	4	4	5	6	2	2	1	1	-	5	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		248	3	10	47	35	32	23	20	14	12	7	7	10	7	21	-	-	-	-	-	-
水痘		10	-	-	1	-	2	2	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		4	-	-	-	-	-	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		13	-	5	6	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		26	-	-	1	3	4	3	4	4	1	1	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	3.99	0.01	0.03	0.23	0.25	0.19	0.22	0.23	0.20	0.06	0.06	0.07	0.23	0.26	0.26	0.39	0.41	0.33	0.25	0.12	0.19
RSウイルス感染症		0.12	-	0.05	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.14	-	-	0.05	-	0.02	-	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.83	-	-	-	0.12	0.10	0.10	0.12	0.14	0.05	0.05	0.02	0.02	-	0.12	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.90	0.07	0.24	1.12	0.83	0.76	0.55	0.48	0.33	0.29	0.17	0.17	0.24	0.17	0.50	-	-	-	-	-	-
水痘		0.24	-	-	0.02	-	0.05	0.05	0.07	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.10	-	-	-	-	-	0.05	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.31	-	0.12	0.14	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.62	-	-	0.02	0.07	0.10	0.07	0.10	0.10	0.02	0.02	0.07	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第14週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年4月13日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	2,051	1,639	1,080	632	511	275
RSウイルス感染症	1	5	5	1	3	5
咽頭結膜熱	8	15	7	17	7	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	83	64	57	54	39	35
感染性胃腸炎	295	256	240	246	246	248
水痘	10	12	11	18	15	10
手足口病	1	1	1	1	-	-
伝染性紅斑	16	7	7	5	5	4
突発性発しん	13	8	13	15	11	13
百日咳	-	-	-	1	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	2	-	1	1
流行性耳下腺炎	20	20	21	15	28	26
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	2	-	4	3	1
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	2,500	2,029	1,444	1,009	869	624

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	30.16	24.10	15.88	9.29	7.41	3.99
RSウイルス感染症	0.02	0.12	0.12	0.02	0.07	0.12
咽頭結膜熱	0.20	0.37	0.17	0.41	0.17	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.02	1.56	1.39	1.32	0.93	0.83
感染性胃腸炎	7.20	6.24	5.85	6.00	5.86	5.90
水痘	0.24	0.29	0.27	0.44	0.36	0.24
手足口病	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-
伝染性紅斑	0.39	0.17	0.17	0.12	0.12	0.10
突発性発しん	0.32	0.20	0.32	0.37	0.26	0.31
百日咳	-	-	-	0.02	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	0.05	-	0.02	0.02
流行性耳下腺炎	0.49	0.49	0.51	0.37	0.67	0.62
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.20	-	0.40	0.30	0.10
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	41.26	33.77	24.76	18.79	16.16	12.37

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。